

一般社団法人TDM品質管理機構

第5回 Therapeutic Drug Monitoring – Quality Control 研究会 (第5回 TDM-QC 研究会)

趣意書

- ・共催ランチオンセミナー
- ・共催特別セミナー
- ・抄録集広告
- ・展示出展
- ・ネームカード・ストラップ
- ・寄附金

会 期 : 2020 年 8 月 1 日 (土)

会 場 : 千里ライフサイエンスセンター 大阪府豊中市新千里東町1-4-2

主 催 : 一般社団法人TDM品質管理機構

第5回 Therapeutic Drug Monitoring - Quality Control (TDM-QC)研究会

会長 奥田 真弘

(大阪大学医学部附属病院 教授・薬剤部長)

協 賛 : 一般社団法人日本TDM学会、一般社団法人日本移植学会

事務局: 一般社団法人TDM品質管理機構

担当: 林 真紀

TEL: 080-9186-5140; FAX: 03-6740-2405;

E-mail: qctdm.office@gmail.com

趣意書

謹啓 貴社におかれましては、益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご承知の通り、2018年、「免疫抑制薬TDM標準化ガイドライン」改訂版、「抗てんかん薬TDM標準化ガイドライン」改訂版が刊行され、また抗菌薬TDMおよび循環器用薬TDMについても既にガイドラインが発刊されています。TDMガイドラインの整備により、これまで以上にTDMを実践する上での標準手順および目標指標値が明らかになりました。しかしながら、血中濃度測定に関しては、検査施設間あるいは検査方法間で測定値のズレが生じる可能性があるため、同一検体を全国の検査施設で分析して施設間・検査方法間の差異を調査し、結果をフィードバックする外部精度管理(コントロールサーベイ)活動が必須となります。これによりTDMに基づく個別化投薬の品質が保証されます。医療法等の一部を改正する法律(平成29年法律第57号)が2018年12月1日に施行され、検体検査の精度の確保の方法が求められるとともに、検体検査の分類が見直され血中薬物濃度検査(TDM)が明記されました。

一般社団法人TDM品質管理機構は中立的な第三者機関として、主に保険適応されている特定薬剤治療管理料対象薬を中心に5疾患群29薬剤のTDMコントロールサーベイ事業(外部精度管理活動)を担います。血中薬物濃度検査の精度について全国調査を行い、その結果を参加施設や学会等に報告することによって、日本の医療におけるTDM品質の均てん化・維持・向上を図ることを目的としております。

この度、第5回 Therapeutic Drug Monitoring – Quality Control (TDM-QC)研究会を2020年8月1日(土)に千里ライフサイエンスセンター(大阪府豊中市新千里東町1-4-2)を会場として開催する運びとなりました。2019年度から2020年度のコントロールサーベイの結果報告を中心に、現在、鋭意準備を進めております。基礎研究から臨床研究に関する一般演題発表および特別セミナー等も含めて実施する予定です。

当日は、日本全国より臓器移植領域を始め、さまざまな疾患領域を専門とする医師、薬剤師、臨床検査技師、基礎研究者等が集い、TDMの活用とその精度管理に関する調査研究報告と意見交換を予定しています。本研究会においては、移植医療、感染症治療および慢性疾患治療における投薬個別化とTDMの諸問題について、基礎、臨床さらには社会学的な分野まで、広く最先端の斬新なテーマを取上げるとともに、これらの成果を集約の上、実地医療に反映し、さらには将来への展開を図り、国民医療の向上等に寄与できる研究会にしたいと考えております。

本研究会には、全国から100名超の参加が見込まれています。しかしながら、これらの準備・開催等の運営には、多額の経費が必要であります。この必要経費の多くを参加登録費などから実質的に賄うべく努力する所存ではございますが、諸般の事情により、参加登録費などでは賄え切れないのが現状でございます。この間の事情をご賢察賜り、貴社におかれましては、諸経費ご多端のおり、誠に恐縮ではございますが、当研究会運営にあたり、何分のご支援、ご援助を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

敬具

2019年 11月吉日

一般社団法人 TDM 品質管理機構
第5回 TDM-QC 研究会
会長 奥田 真弘
(大阪大学医学部附属病院 教授・薬剤部長)

一般社団法人 TDM 品質管理機構
第 5 回 TDM-QC 研究会
開催要項

- 1) 研究会の名称
第 5 回 Therapeutic Drug Monitoring – Quality Control (TDM-QC) 研究会
- 2) 代表者
会長 奥田 真弘 (大阪大学医学部附属病院 教授・薬剤部長)
- 3) 協賛
日本 TDM 学会、日本移植学会
- 4) 開催期間
2020 年 8 月 1 日 (土)
- 5) 開催場所
千里ライフサイエンスセンター 大阪府豊中市新千里東町1-4-2 Tel. 06-6873-2010
- 6) 研究会の概要
 - ・2019年度および2020年度コントロールサーベイ結果報告
 - ・特別セミナー、ランチョンセミナー、一般演題(ポスター)、他
 - ・参加者予定人数 約150名

募集要項

- 1) 名称
第5回 TDM-QC 研究会 開催費
- 2) 目的
第5回 TDM-QC 研究会 開催運営資金
- 3) 募集期限
2020年5月31日(日)
- 4) 申し込み及び払い込み方法

*趣意書末尾の「申込書」を切り取りいただき、下記宛にファックスにて申し込み願います。

第5回 TDM-QC 研究会 会長 奥田 真弘 宛

ファックスご送付番号:03-6740-2405

*振込先

三井住友銀行 麹町支店(218)

普通口座 No.9236233

口座名義「一般社団法人 TDM品質管理機構」

*免税の措置はございません。

予 算 案

第 5 回 TDM-QC 研究会を開催するにあたり、準備と運営に総額で約 702 万円が必要と概算されます。これらの経費は本来参加登録費等で賄うのが本筋ではございますが、参加者の個人負担には限度があるため、必要経費の相当額を諸団体、諸企業様からの共催費に頼らざるを得ません。

概算としましては、本研究会開催に際し、予定される必要経費総額約 702 万円を、参加者から徴収する登録費約 47 万円、セミナー共催費約 451 万円、展示出展費約 82 万円、広告費約 71 万円、寄附金約 50 万円等で充当させていただきたいと考えております。

時節柄、誠に恐縮に存じますが、第 5 回 TDM-QC 研究会の趣旨にご理解いただき、是非ご支援くださいますようお願い申し上げます。

収支予算書

収入予定		支出予定	
事前参加費 @2,000×80 名	¥160,000	運営費	¥2,000,000
当日参加費 @3,000×20 名	¥60,000	会場・設備費	¥1,850,000
非会員参加費 @5,000×50 名	¥250,000	通信・運搬費	¥200,000
展示出展費	¥825,000	会議費	¥350,000
抄録集広告費	¥550,000	ネームカード・ストラップ製作費	¥165,000
ネームカード・ストラップ	¥165,000	出版印刷費	¥550,000
寄付金	¥500,000	旅費・交通費	¥400,000
セミナー共催費	¥4,510,000	消耗品・雑費	¥250,000
		予備費	¥85,000
		一般管理費(20%)	¥1,170,000
合 計	¥7,020,000	合 計	¥7,020,000

1. 開催場所 : 千里ライフサイエンスセンター
2. 開催期間 : 2020 年 8 月 1 日(土)
3. 参加人数 : 150 名予定

共催一覧

広告	単価	枠	合計: ¥1,540,000
抄録集広告 後付A4	¥55,000	4	¥220,000
抄録集広告 後付A5	¥33,000	10	¥330,000
ネームカード・ストラップ	¥165,000	1	¥165,000
展示出展	¥275,000	3	¥825,000
共催セミナー	単価	枠	合計: ¥4,510,000
特別セミナー	¥1,100,000	2	¥2,200,000
特別セミナー	¥770,000	2	¥1,540,000
ランチョンセミナー	¥770,000	1	¥770,000

□ 企業共催 特別セミナー共催費

時間	席数	会場	共催費	枠数
60分間	約 210 席	ライフホール	¥1,100,000	2
60分間	約 130 席	サイエンスホール	¥770,000	2

1. 共催費に含まれる費用

- ① 会場費
- ② 会場付帯設備費(椅子/机/ステージ/スクリーン/音響設備/照明等)
- ③ 控室室料

2. 共催費に含まれない費用

- ① 司会/座長/講師への謝金、旅費(御社規定により)
- ② 控室での接遇飲食費・機材費
- ③ 運営費用(運営人件費/追加機材/看板装飾費他)
- ④ ポスター/チラシ/製作物

□ 企業共催ランチョンセミナー共催費

時間	席数	会場	共催費	枠数
11:50 ~ 12:50 (60分間)	約 210 席	ライフホール	¥770,000	1

1. 共催費に含まれる費用

- ① 会場費
- ② 会場付帯設備費(椅子/机/ステージ/スクリーン/音響設備/照明等)
- ③ 控室室料

2. 共催費に含まれない費用

- ① 司会/座長/講師への謝金、旅費(御社規定により)
- ② 聴講者への昼食弁当等の飲食費
- ③ 控室での接遇飲食費・機材費
- ④ 運営費用(運営人件費/追加機材/看板装飾費他)
- ⑤ ポスター/チラシ/製作物

□ 展示募集要項

1. 募集小間数

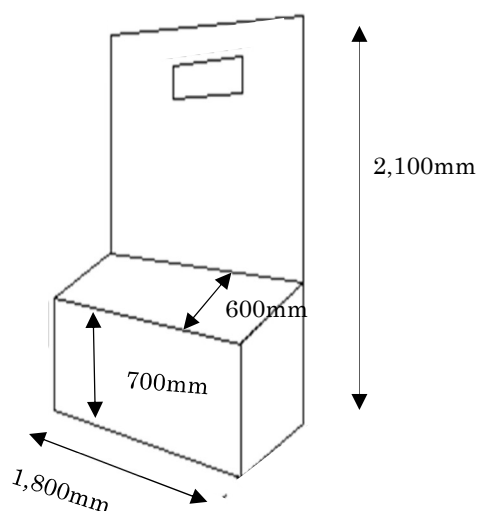
企業展示 3 小間程度

※スペース展示のみの場合でも同料金となります。

2. 出展料

1 小間 275,000円(税込)

3. 小間仕様



企業展示 間口1,800mm×奥行600mm×高さ2,100mm

展示台:高さ700mm(白布巻)

蛍光灯:フロア照明のみ

電源コンセント:100v单相

電力上限:1500w×2回線(フロア全体)

社名版:貴社にてご準備ください

※後ろ側の展示パネル部分(1,800mm×2,100mm)は、重い物を立て掛けたり吊るしたりする事は出来ませんので、ご注意ください。

5. 注意事項

小間の割り当て:

出展申込後、出展物の種類・形状・重量・小間数等を考慮の上主催者にて決定いたします。
出展者説明会は行いません。

出品物の管理 :

出展物の管理は出展者が責任を持つものとし、展示期間中の出展物の盗難・紛失・火災・損傷等不可抗力による出展物の損害に対して、補償等の責任は一切負いませんので、ご了承ください。

展示会の中止について :

災害・天変地異等の不可抗力により、展示会の全日程または一部を中止する場合があります。この場合、主催者は出展者に対して、開催中止となった部分の割合(一部中止の場合)及び残りの開催日数等を考慮して、主催者が相当と認める額を出展者に払い戻しますが、それ以外の責任は、一切負いません。

搬入・搬出について :

小間割(レイアウト)、搬入・搬出スケジュール等詳細は後日改めてご案内いたします。

□ 抄録集広告掲載 募集要項

1. 広告媒体名 :第5回 TDM-QC 研究会 プログラム・抄録集
2. 配布対象 :会員及び参加者
3. 発行部数 :300部 (A4判)
4. 媒体作成費 :550,000円(税込)
5. 広告料総額 :550,000円(税込)
6. 広告掲載料 :

広告	単価	枠	合計: ¥550,000
抄録集広告 後付A4	¥55,000	4	¥220,000
抄録集広告 後付A5	¥33,000	10	¥330,000

□ ネームカード・ストラップ 募集要項

1. 広告媒体名:第5回TDM-QC研究会 ネームカード・ストラップ
2. 配布対象 :会員及び参加者
3. 配布数 :150本
4. 媒体製作費 :165,000円(税込)
5. 広告料総額 :165,000円(税込)
6. 広告掲載料 :

広告	単価	枠	合計: ¥165,000
ネームカード・ストラップ	¥165,000	1	¥165,000

□ 寄附金 募集要項

1. 募金団体名および代表者
第 5 回 TDM-QC 研究会 会長 奥田 真弘
2. 募金目的
第 5 回 TDM-QC 研究会の開催資金
3. 寄附金を必要とする理由
第 5 回 TDM-QC 研究会開催にあたり、準備と運営に総額で約702万円が必要と概算されます。これらの経費は本来参加者の会費その他で賄うのが本筋ではございますが、参加者の個人負担には限度があるため、必要経費の相当額を諸団体、諸企業様からの共催費・寄附金等に頼らざるを得ません。必要経費約702万円のうち、寄附金で約50万円を充当させていただきたいと考えております。時節柄、誠に恐縮に存じますが、本研究会の趣旨にご理解いただき、是非ご支援くださいますようお願い申し上げます。
4. 寄附金目標額
500,000円
5. 免税措置
免税措置はございません。

ご留意事項

1. 共催費のご請求について

- ① 当趣意書末尾の「申込書」をお切り取りいただき、ファックスにて申込み願います。
※ 複数社からのお申込みがある場合、決定は事務局に一任とさせていただきます。
- ② 時間・会場の調整後、結果をお知らせいたします。
- ③ 調整結果通知後、請求書を発行いたします。
- ④ 請求書の発行日より2か月以内に指定口座へのお振込みをお願いいたします。
- ⑤ 詳細につきましては運営事務局からお知らせいたします。

2. 申込みの取り消しについて

申込書提出後は、事務局が不可抗力と認めた場合を除き、取り消しはできませんのでご了承ください。

3. 『企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン』について

本研究会は、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」、日本医療機器産業連合会の「医療機器業界における医療機関等との透明性ガイドライン」および各企業様が定める指針に従い、第5回 TDM-QC 研究会への共催費・寄附金等を共催企業が公表することに同意いたします。

2019年 10 月吉日

第5回 TDM-QC 研究会
会長 奥田 真弘
(大阪大学医学部附属病院 教授・薬剤部長)

申込日： 年 月 日

第 5 回 TDM-QC 研究会 会長 奥田 真弘 宛
(大阪大学医学部附属病院 教授・薬剤部長)

第 5 回 TDM-QC 研究会 共催申込書

FAX ご送付先:03-6740-2405

貴社名 (ふりがな)	
ご所属	
ご担当者名 (ふりがな)	
ご住所	
TEL	
FAX	
E-mail	

・ 申込箇所には☑を記載願います

広 告	金 額	申 込
抄録集広告 後付A4	¥55,000	<input type="checkbox"/>
抄録集広告 後付A5	¥33,000	<input type="checkbox"/>
ネームカード・ストラップ	¥165,000	<input type="checkbox"/>
共催セミナー	金 額	申 込
特別セミナー	¥1,100,000	<input type="checkbox"/>
特別セミナー	¥770,000	<input type="checkbox"/>
ランチョンセミナー	¥770,000	<input type="checkbox"/>

※ お申込み後、研究会事務局にて調整の上、ご案内および御請求書を発行させていただきます。

【問い合わせ先】

一般社団法人TDM品質管理機構事務局

Tel: 080-9186-5140 E-Mail: qctdm.office@gmail.com

担当: 林 真紀

申込日： 年 月 日

第 5 回 TDM-QC 研究会 会長 奥田 真弘 宛
(大阪大学医学部附属病院 教授・薬剤部長)

第 5 回 TDM-QC 研究会 展示申込書

FAX ご送付先:03-6740-2405

貴社名 (ふりがな)	
ご所属	
ご担当者名 (ふりがな)	
ご住所	
TEL	
FAX	
E-mail	

※ お申込み後、研究会事務局にて調整の上、ご案内および御請求書を発行させていただきます。

【問い合わせ先】

一般社団法人TDM品質管理機構事務局

Tel: 080-9186-5140 E-Mail: qctdm.office@gmail.com

担当: 林 真紀

申込日： 年 月 日

第 5 回 TDM-QC 研究会 会長 奥田 真弘 宛
(大阪大学医学部附属病院 教授・薬剤部長)

第 5 回 TDM-QC 研究会 寄附申込書

FAX ご送付先:03-6740-2405

貴社名 (ふりがな)	
ご所属	
ご担当者名 (ふりがな)	
ご住所	
TEL	
FAX	
E-mail	

第 5 回 TDM-QC 研究会の趣旨に賛同して、下記金額を運営資金として寄附致します。

寄附金 _____ 円也

以下の指定口座に平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日頃に振り込み予定

【お振込口座】

三井住友銀行 麹町支店 (218)
普通口座 No.9236233
口座名義「一般社団法人 TDM品質管理機構」

※ 税法上の取り扱いにつきのましては、免税の措置はございません。

【問い合わせ先】

一般社団法人TDM品質管理機構事務局
Tel: 080-9186-5140 E-Mail: qctdm.office@gmail.com
担当: 林 真紀